

2016年3月期
(2015年4月1日～2016年3月31日)

決算参考資料

2016年5月11日



東証・名証1部上場 コード:9900
設立:1970年3月
資本金:71億7810万円



目次

1. 連結対象企業の事業内容	—————	P2
2. 店舗展開の状況	—————	P4
3. 2016年3月期の業績概況	—————	P6
4. 財政・キャッシュフローの概況	—————	P6
5. 2016年3月期の業績・取り組みについて	—————	P7
6. 2017年3月期の業績予想	—————	P8

1. 連結対象企業の事業内容

○ 連結子会社の対象範囲は10社であります。

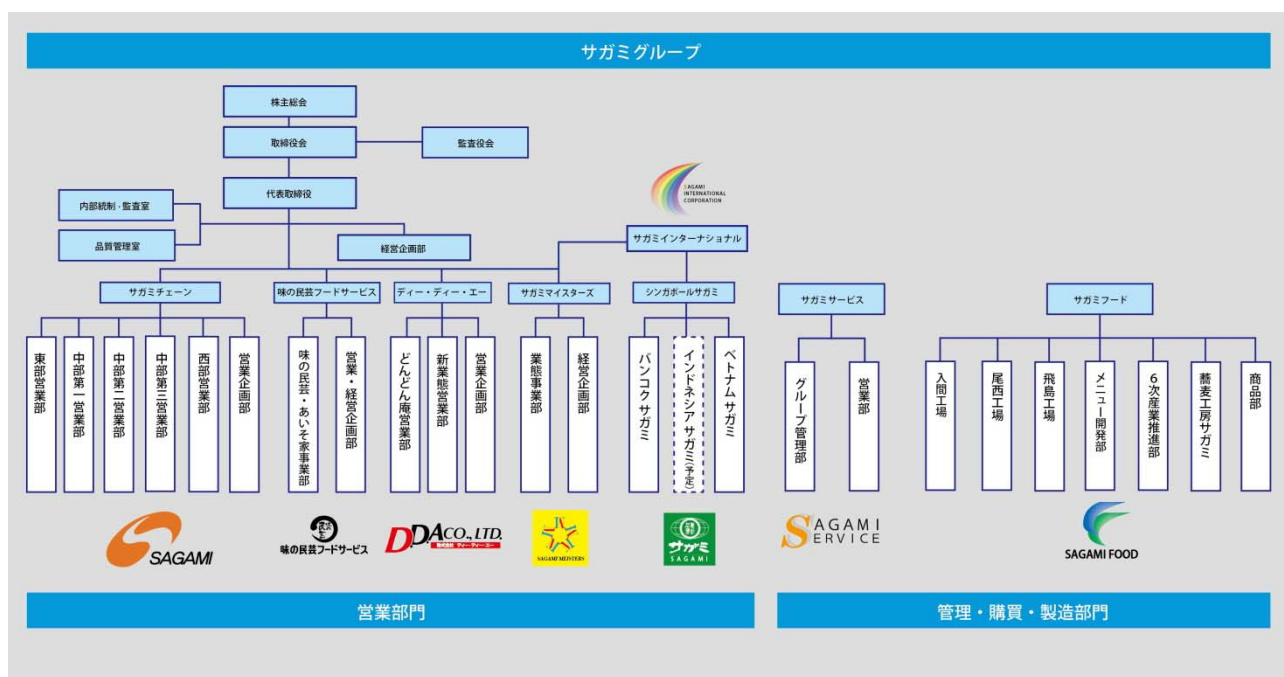
[連結子会社]

名称	住所	資本金又は 出資金	事業の内容
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	50,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガマイスターズ	立川市	10,000,000円	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミサービス	名古屋市	10,000,000円	保険代理業 店舗設備のメンテナンス業務 不動産賃貸業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	食材の仕入・製造業務 飲食店の経営 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	1,000,000米ドル	海外事業(ASEAN)の統轄
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	投資事業
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	2,500,000,000ドン	飲食店の経営

○ 主な海外統括会社および事業会社の設立日

SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	----2013年06月03日
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	----2013年10月17日
サガミインターナショナル株式会社	----2014年04月01日
VIETNAM SAGAMI JSC	----2016年01月11日

○ サガミグループ組織図



○ グループ会社について

- ◆ 株式会社サガミチェーンは、主に和食麺処サガミ業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態、あいそ家業態を経営しております。
- ◆ 株式会社ディー・ディー・エーは、主にどんどん庵業態、製麺大学業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマイスターズは、主に水山業態、JINJIN業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミサービスは、主に管理業務、保険業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEAN地域での事業の統轄を行います。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行います。

|| 2. 店舗展開の状況

	2015年 3月期	2016年 3月期			2017年 3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麵処サガミ	128	1	—	129	3	—	132
さがみ庭 (SC店)	2	—	—	2	—	1	1
さがみ庭 (高級業態)	1	—	—	1	1	—	2
盛賀美	2	—	1	1	—	—	1
さがみ	0	1	—	1	—	—	1
濱町	0	5	—	5	—	2	3
味の民芸 (FC店舗含む)	56	—	—	56	—	1	55
あいそ家	10	—	1	9	—	—	9
あいそ家 Kitchen	1	—	—	1	—	—	1
どんどん庵	37	—	4	33	2	1	34
どんどん庵 (どん呑み対応店)	1	2	—	3	—	—	3
まるど食堂	2	—	1	1	1	—	2
鹿山食堂	1	—	—	1	—	1	0
製麺大学	4	—	—	4	—	—	4
水山 (FC店舗含む)	6	—	1	5	2	—	7
びんむぎ	1	—	—	1	—	—	1
JIN JIN	4	—	2	2	—	—	2
Dela PASTA Kitchen	1	—	—	1	—	—	1
ASIAN LEAF	1	—	—	1	—	1	0
サガミ村	2	—	1	1	—	—	1
陣屋サガミ	1	—	—	1	—	—	1
フランチャイジー店舗	5	—	3	2	—	—	2
その他 国内	0	—	—	0	1	—	1
海外 上海	3	—	1	2	—	—	2
海外 タイ	2	1	—	3	—	—	3
海外 インドネシア	1	1	—	2	—	—	2
海外 その他	0	1	1	0	2	—	2
合計	272	12	16	268	12	7	273

*業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

*2016年3月31日現在

○ 業態毎の店舗展開について

<国内>

- ◆ 2016年3月1日に、郊外ロードサイド型の和食レストラン業態「濱町」6店舗を取得いたしました。この6店舗は当社の重点出店地域である関東圏(神奈川県)に位置しており、戦略上の価値は高いと考えております。
- ◆ 和食麵処サガミ業態では、2016年3月に「濱町 いずみ中央店」を「和食麵処サガミ いずみ中央店」に業態転換いたしました。転換以降、業績は非常に良好に推移しております。これにより、和食麵処サガミ業態の店舗数は129店舗となりました。
- ◆ 2015年4月に「盛賀美 青山店」を「さがみ 青山店」に業態転換いたしました。当店舗は、タニタ食堂の日替わりメニューを提供する初の外食チェーン店であり、高まる健康需要へのアンテナショップと位置付けております。
- ◆ 味の民芸業態に当期間での店舗数の増減はありません。なお、味の民芸業態の店舗数はFC店舗を含め56店舗であります。
- ◆ あいそ家業態では、契約満了により、2015年8月に「あいそ家 半田店」を閉店いたしました。これにより、あいそ家業態の店舗数はあいそ家 Kitchen業態を含め10店舗となりました。
- ◆ どんどん庵業態では、2015年7月に「どんどん庵 名駅西店」を、2015年12月に「どんどん庵 高畑店」をどん呑み対応店に転換いたしました。また、2015年7月に「どんどん庵 岡崎大前店」を、2015年12月に「どんどん庵 守山口店」を、2016年1月に「まるど食堂 小幡店」を閉店したことにより、どんどん庵業態の店舗数はどん呑み対応店を含め37店舗となりました。
- ◆ その他、小型業態において、2015年5月に「水山 土岐プレミアムアウトレット店」を、2015年8月に「JINJIN ecute大宮店」を、「JINJIN 三芳店」を、2016年3月に「サガミ村 八千代店」を閉店いたしました。これにより、各業態の店舗数は、水山業態5店舗、JINJIN業態2店舗、サガミ村業態1店舗となりました。
- ◆ 2016年3月にフランチャイジー店舗である丸源ラーメン3店舗を譲渡いたしました。
- ◆ その他、国内業態における当期間での店舗数の増減はありません。

<海外>

- ◆ 期間限定ではありますが、イタリア ミラノ万博(2015年5月1日から10月31日まで開催)に参加し、日本館のフードコートに出店いたしました。当店舗では、サガミの看板メニューである蕎麦や天ぷらを世界の方々に提供いたしました。
- ◆ 2015年5月に、インドネシアのショッピングモール「イオンモールBSD CITY」に「サガミ SAGAMI」を出店いたしました。これによりインドネシアの店舗数は2店舗となりました。
- ◆ 2016年1月に、タイのショッピングセンター「Silom Complex」に「サガミ SAGAMI」を出店いたしました。これによりタイの店舗数は3店舗となりました。
- ◆ 2015年9月に、FC店舗「上海盛賀美 延安西路店」を閉店いたしました。これにより、上海盛賀美は2店舗となりました。

以上により、2016年3月末のサガミグループ店舗数は268店舗であります。

|| 3. 2016年3月期の業績概況

○ 連結ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2015年 3月期	当初計画 2015年5月12日発表	修正計画 2015年11月12日発表	2016年 3月期	当初計画 差異
売上高	25,341	26,300	26,300	25,887	△413
営業利益	579	730	750	876	146
経常利益	660	780	800	915	135
当期純利益	458	510	510	513	3
一株あたり 当期純利益	18.36	19.26	19.26	19.39	0.13

○ 単体ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2015年 3月期	当初計画 2015年5月12日発表	修正計画 2015年11月12日発表	2016年 3月期	当初計画 差異
売上高	16,411	16,900	16,900	16,734	△166
経常利益	628	670	690	852	182
当期純利益	459	420	420	496	76
一株あたり 当期純利益	18.43	15.86	15.86	18.75	2.89

*当初計画とは、2015年 5月12日に発表した通期計画です。
*修正計画とは、2015年11月12日に発表した通期計画です。

|| 4. 財政・キャッシュフローの概況

○ 連結財政状態

単位 (百万円/%/円)	2015年 3月期	2016年 3月期
総資産	17,978	18,852
純資産	11,443	13,390
自己資本比率	63.6	71.0
一株あたり 純資産	458.46	505.54

○ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2015年 3月期	2016年 3月期
営業活動によるキャッシュフロー	1,155	1,216
投資活動によるキャッシュフロー	△276	△858
財務活動によるキャッシュフロー	△1,076	321
現金及び現金同等物 期末残高	3,298	3,968

- 設備投資について
連結設備投資は 650百万円(2015年3月期実績663百万円)となりました。
- 減価償却費について
減価償却費は 501百万円(2015年3月実績477百万円)となりました。

|| 5. 2016年3月期の業績・取り組みについて

○ 2016年3月期の業績について

- ◆ 主力業態である「和食麵処サガミ」の2016年3月期の業績につきましては、既存店の売上前年比が103.8%となりました。高付加価値メニューを拡充したことが奏功し、客単価前年比が102.5%と好調に推移いたしました。客数前年比も101.3%と順調に推移し、売上が前年を上回る結果となりました。
- ◆ 「和食麵処サガミ」の次に店舗数の多い、「味の民芸」につきましては、御膳カテゴリーを強化したメニューへの変更が奏功し、売上、客数ともに非常に好調に推移いたしました。グループシナジーも大きく、営業利益が大きく伸びました。
- ◆ 連結の売上面につきましては、新規出店の遅れ、中国事業である上海盛賀美のFC事業への転換、FCジー事業の譲渡による影響があり、未達となりました。

○ 2016年3月期の主な取り組みについて

- ◆ 2015年5月1日から10月31日まで、イタリアにて開催されたミラノ万博 日本館フードコートに出店いたしました。当店舗では、日本の食文化の一つでもある蕎麦の知名度向上を目指し、蕎麦を中心とするメニューの提供を行いました。売上については非常に意欲的な計画を策定しておりましたが、その1.5倍を記録するなど、大盛況で終わることができ、今後の海外展開構想に一石を投じる結果となりました。
- ◆ 主力業態の和食麵処サガミでは、2015年11月19日より『冬の感謝祭』を実施いたしました。当企画では人気メニューをお得な価格で販売したほか、11月24日の和食の日を記念したメニューの販売や、JAと連携したお米プレゼントキャンペーンも実施し、非常に多くのお客様にご利用いただくことができました。
- ◆ 2016年3月グループ化した「濱町 いずみ中央店」を「和食麵処サガミ いずみ中央店」に業態転換し、同3月17日にグランドオープンいたしました。転換以降、業績は非常に良好に推移しております。
- ◆ 味の民芸では、2015年8月28日より3日間、東京 代々木公園で行われた『うどん天下一決定戦 2015』に出場いたしました。会場では2種類の「冷やし肉すきうどん」を販売し、来場者による投票の結果、出場15店舗中、第3位入賞という評価をいただきました。



5月1日から10月31日まで
ミラノ万博日本館に出店いたしました



『冬の感謝祭』ポスター



3月17日にグランドオープンした
和食麵処サガミ いずみ中央店

6. 2017年3月期の業績予想

○ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2016年 3月期	2017年 3月期
売上高	25,887	26,000
営業利益	876	900
経常利益	915	950
当期純利益	513	550

○ 単体ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2016年 3月期	2017年 3月期
売上高	16,734	17,200
経常利益	852	870
当期純利益	496	510

○ 2017年3月期について

- ◆ 新中期経営計画を策定いたしました。グループビジョン“**No.1 Noodle Restaurant Company**”の実現に向け、グループの総力を結集し、邁進してまいります。
- ◆ 新中期経営計画では、「事業基盤の強化」「収益力の向上」「成長戦略の推進」の基本戦略に基づき、各種施策に取り組んでまいります。
- ◆ 事業会社の機能と役割を明確化し、各事業の拡大を進めてまいります。
- ◆ 新規出店を推進するため、立地開発部門の人員体制を拡充いたしました。
- ◆ より魅力あるメニューをグループ各業態で展開するため、メニュー開発部門をサガミフードに集約いたしました。
- ◆ 2016年4月に、愛知県飛島村にそば打ち体験施設「蕎麦工房」を開業いたしました。高まる「コト需要」に対応することにより、インバウンド集客を更に進めてまいります。
- ◆ 2016年4月に、大府市役所6階にサガミ「健やか食堂」を開店いたしました。高まる健康志向に対するメニュー開発ノウハウ蓄積と、和食麵処サガミ大府店と連携した相互活用体制の構築を意図しております。
- ◆ 弊社は2015年5月から10月まで「ミラノ国際博覧会」日本館内に出店し、大盛況を博しました。海外展開における欧州市場の可能性を探るために、2016年4月中旬から約1ヶ月間、イタリアミラノ市内において、テストマーケティングを実施しております。本テスト店舗では、「そば」と「なごやめし」で15品目を提供し、需要調査と知名度向上に取り組んでおります。
- ◆ 高齢化社会が年々進行する中、宅配事業への取り組みは重要性が増しております。2016年3月期は、5店舗に新規導入しグループ13店舗にて実施いたしました。2017年3月期は、上記に加え、新たに8店舗での追加実施を目標に取り組んでまいります。
- ◆ 関東地域は今後も人口の増加が予測されており、また、ASEAN地域は著しい経済発展をしている上、『和食』の人氣も非常に高い地域であります。両地域は中部地域同様に最重要地域と位置付け今後も注力してまいります。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により当初予想数値と異なる可能性があり、毎年見直してまいります。

ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

(1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕すること」「企業を通じてお客様に奉仕すること」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム(TDnet: Timely Disclosure network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャー ポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャー ポリシーを周知徹底し遵守いたします。